

## 1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	32.5	21.2
② 銀座店	34.4	26.1
③ 浅草店	11.1	14.3

① 銀座本店	: 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
② 銀座店	: 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
③ 浅草店	: 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

## 2. 売上高対前年増減率推移 (単位:%)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
銀座本店	421.4	4.7	8.6	-5.7	6.1	5.4	11.9	19.7	26.0	12.3	11.4	32.5
松屋銀座	361.8	2.8	8.9	-8.5	6.6	6.2	13.4	20.5	27.4	12.8	10.8	34.4
松屋浅草	*	24.3	5.1	26.5	0.0	-5.5	-1.7	12.3	12.2	5.5	17.6	11.1

## 3. 店舗別商況

銀座店	4月の銀座店は、売上高が前年に対して約3割増となりました(前年は、緊急事態宣言の発出により4/25から、食品等を除き全面休業。銀座店全体の前年休業によるプラス影響度は13.8%程度)。3月末の「まん延防止等重点措置」解除以降、銀座への来街者が日を追うごとの増加する中、国内のお客様の売上高は前年に対して約4割増、新型コロナウイルス感染症が拡大する前となる2019年4月の対比においても約8%の伸びを示しております。その強い伸びを牽引する軸となるカテゴリーは、銀座店の強みとなるラグジュアリーブランド(前年比約4.5倍。免税を除く国内のお客様の売上高2019年対比においても約7.5倍)や、化粧品の堅調(前年比2.5倍。免税を除く国内のお客様の売上高2019年対比においても約3%増)となります。また、「鬼滅の刃全集中展Ⅱ」が月中旬から(大型連休明けまで)開催され回遊・買廻りが促進されたことも、売上増加の一要因と考えられます。
-----	---

## 4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	23.9	23.9
婦人服・洋品	35.6	35.7
子供服・洋品	23.3	23.3
呉服寝具他	26.7	27.7
衣料品計	31.7	31.8
身廻り品	53.4	53.6
雑貨	34.3	37.3
家具	93.6	95.2
家電	79.7	81.0
家庭用品	13.2	13.3
家庭用品計	62.5	63.3
食料品	8.1	9.0
食堂・喫茶	62.1	62.5
サービス、その他	12.0	12.0
合計	32.5	34.4

※「2022年5月上報告」は、6/1(水)15時に開示を予定しています。

お問い合わせ先 株式会社 松 屋 総務部 コーポレートコミュニケーション課  
TEL:(03)3248-8311 / Mobile : 070-4547-7555